

ヒト羊膜上皮細胞におけるactivin A産生

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2010-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 安部, 由美子, 小松原, 麻紀, 齋藤, 恵美, 戸田, 麻友穂, 水流, 奈己, 丸川, りさ, 峯岸, 敬 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10098/2687

ヒト羊膜上皮細胞におけるactivin A産生

○安部由美子¹⁾、小松原麻紀²⁾、齋藤恵美²⁾、戸田麻友穂²⁾、水流奈己²⁾、丸川りさ²⁾、峯岸 敬³⁾

1. 群馬大学医学部保健学科検査技術科学専攻、2. 群馬大学 大学院医学系研究科、生体・環境保健情報科学、
3. 群馬大学 大学院医学系研究科 産科婦人科学

【背景と目的】近年、activin Aが種々の組織で炎症や創傷治癒に関与していることが報告されている。このため、絨毛膜羊膜炎で羊水中の濃度が増加することが報告されているTNF- α 添加時のactivin A産生を検討した。

【方法】院内臨床試験審査委員会の承認の下で、内科合併症、前期破水及び胎児異常を認めない妊婦より、インフォームド・コンセントを得て、満期の予定帝王切開時に卵膜を採取し、Okitaらの方法に基づき羊膜上皮細胞を得た。培養細胞にTNF- α を添加し、inhibin/activin β A mRNA発現量をquantitative PCRにより、activin A蛋白産生量をELISAにより測定した。

【結果】(1) TNF- α (1 ng/ml) 添加により、時間依存的なactivin A産生の増加を認めた。培養48-96時間では、培養液中のactivin A濃度は、対照群に比べ有意に高値であった。TNF- α (1 ng/ml) 添加48時間後のinhibin/activin β A mRNA発現量は対照群に比べ有意に増加した。(2) TNF- α (0.1-3.0 ng/ml) 添加後48時間の培養で、用量依存的なactivin A産生の増加を認めた。(3) TNF- α と抗TNF- α 抗体の同時添加により、TNF- α により増加したactivin A産生を抗TNF- α 抗体は用量依存的に抑制した。

【考察】絨毛膜羊膜炎の羊水で報告されている濃度域のTNF- α がヒト羊膜上皮初代培養細胞のactivin A産生を促進した。Activin Aが絨毛膜羊膜炎に関与している可能性が推測された。